

市民意見について

# みんなでつくる福岡市の将来計画プロジェクトについて

## 1 概要

第9次福岡市基本計画が令和6年度末をもって計画期間の満了を迎えることから、次期基本計画の策定に向けた検討を進めるにあたり、幅広い市民等から意見を募集したものの。

## 2 実施期間

令和5年4月25日～10月31日（ワークショップ等については11月末まで）

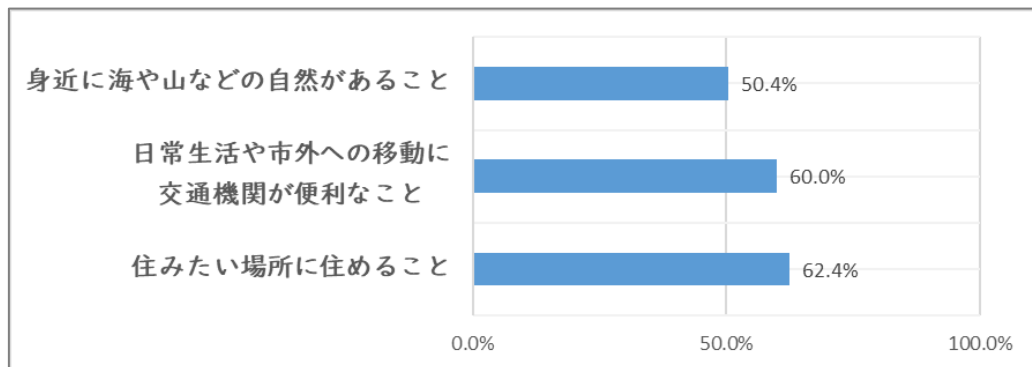
## 3 実施内容

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| (1) オンラインアンケート      | (5) ゲームを活用した取組み |
| (2) メールや郵送等による意見の受付 | (6) 小中学校での意見募集  |
| (3) 外国からの来訪者へのアンケート | (7) 有識者インタビュー   |
| (4) ワークショップ         | (8) 民間主導の取組み    |

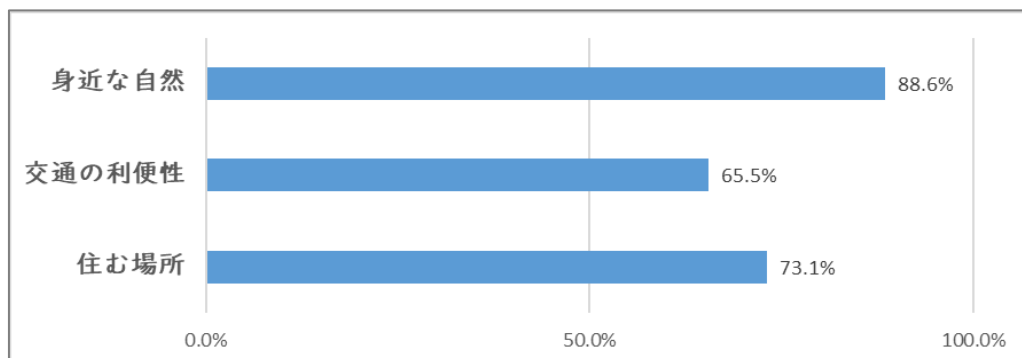
### オンラインアンケート

スマートフォンなどで、いつでもだれでも回答できるオンラインアンケートを実施（回答件数：8,242件）

#### ●「あなたにとって幸せな未来のために特に大切なこと」の選択割合



#### ●選択した項目の現在の満足度（満足+やや満足の割合）



●福岡市や自分自身の未来についての自由記述意見（述べ 3,315 件）

大項目	件数
ユニバーサルデザイン、健康、福祉	504 件
子ども、教育	652 件
文化芸術、スポーツ	160 件
地域コミュニティ	86 件
防災、都市基盤	161 件
防犯、モラル・マナー	155 件
環境、自然	158 件
交通	445 件
経済振興、都心部	299 件
国際	59 件
その他	636 件
	3,315 件

環境、自然に関する意見のうち主なものを抽出

項目	主な意見
脱炭素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○再生可能エネルギーや EV の推進（20 代以下・城南区）</li> <li>○購入する商品の CO2 量の見える化（20 代以下・西区）</li> <li>○マンションへの太陽光パネル設置の普及（20 代以下）</li> <li>○環境問題に一人ひとりが向き合うべきで、自治体は情報発信を（30 代・東区）</li> </ul>
資源循環	<ul style="list-style-type: none"> <li>○リサイクルをもっと身近に簡単にできるように（40 代・南区）</li> <li>○プラスチックごみを個別に回収してほしい（30 代・東区）</li> <li>○段ボールが資源ごみとして出しやすいまち（40 代・中央区）</li> <li>○3R ステーションのような場所が増えるとよい（60 代・博多区）</li> <li>○コンポストの推奨（20 代以下・中央区）</li> </ul>
自然共生	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然を生かしたまちづくり（30 代・西区）</li> <li>○ほどよく都会でほどよく田舎っぽさが残るまち（70 代以上・東区）</li> <li>○花や緑に溢れたまち（50 代・南区）</li> <li>○幅広い年齢層の憩いの場となる公園（20 代以下・中央区）</li> <li>○生物多様性への配慮、在来種の保護を（70 代・城南区）</li> <li>○子どもたちがのびのびと触れられる自然が沢山残ったまち（30 代・東区）</li> <li>○地球に生かされていることを感じ、感謝できるまち（40 代・南区）</li> <li>○ヒートアイランドへの対策を（40 代・中央区）</li> <li>○綺麗で遊べる砂浜がもっと多くあるとよい（60 代・東区）</li> <li>○海や山が近くにあり、おいしい食で溢れる環境の継続（30 代・西区）</li> </ul>

# 福岡の環境みらいづくりワークショップについて

## 1 概要

未来を担う福岡市内の大学生から、理想の環境都市像と実現に向けたアイデアを募り、次期計画策定の参考とするもの。

## 2 実施日時

令和6年10月5日（土） 13:30 – 16:30（16:00の予定を延長）

## 3 会場

fabbitGG アクロス福岡

## 4 参加者

市内大学生・専門学生 16名

## 5 プログラム

- (1) 基調講演 佐座 楨苗 氏 一般社団法人 SWITCH 代表理事  
「地球1つで暮らすために～生態系がベースとなる社会を考えよう～」
- (2) 補足説明 福岡市  
福岡市の現況と課題／環境基本計画 について
- (3) ワークショップ
- (4) 発表

## 6 内容

基調講演等を通して地球環境や福岡市の現状を学び、環境問題を自分事として捉えてもらったうえで、4つのグループに分かれ、それぞれのグループから理想の環境都市像と実現に向けたアイデアについて発表していただいた。

リラックスした雰囲気の中、参加者は環境問題への意識が高く、多様な意見が出され、時間を延長するほど議論が尽きなかった。



(当日の様子)



(発表内容抜粋)

	理想のまち	アイデア (アクション)
1 班	リサイクルタウン福岡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべてのコンビニにリサイクルボックス設置 (街中に猫型ロボットの同ボックスを設置するなど、自発的にリサイクルしたくなる仕掛け)</li> <li>・ごみ袋等にリサイクルが可能なものを具体的に明記</li> </ul>
2 班	グリーン・コネクト・シティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビルの緑化の推進や身近にある緑を再発掘して、緑を増やし、「点」と「点」を「線」にする</li> <li>→そのエリアをウォーキングできるようにし、道沿いには民間の飲食店等を誘致。その収益の一部は緑化政策に還元できるような仕組み</li> </ul>
3 班	緑豊かなまち (ガーデンシティ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域にコミュニティガーデンをつくり、各家庭にコンポストを1台配付</li> <li>→堆肥は割り当てられたコミュニティガーデンに持っていき、できた野菜は地域に還元するなど、地域で食料が循環し、地域コミュニティが活性化する仕組み</li> <li>・2030年までに都市部の緑被率30%に引上げ</li> <li>→街路樹増、ビルの屋上の緑化、車道を減らし緑の歩道化</li> </ul>
4 班	食料リサイクル No.1 なまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウーバーイーツのような配達の仕組みを利用し、家庭や企業から資源物を回収。中心部にリサイクルボックスを設置し、一定量入れたらポイントをもらえる仕組み</li> </ul>

# 九州大学共創学部との連携プロジェクト（Eco Communication Project）

## 1 概要

自治体や企業等との「共創」をコンセプトに掲げる九州大学共創学部と連携し、環境問題への関心が高い学生有志参加のもと、全4回にわたるプロジェクトを実施。理想の環境都市像と実現に向けたアイデアを募り、環境政策全般や次期計画策定の参考とするもの。

## 2 実施日時

第1回	第2回	第3回	第4回
7月19日(金)	10月4日(金)	10月25日(金)	11月29日(金)
オリエンテーション	施設見学	中間発表	最終発表会
・プロジェクト概要 ・市の取組等説明	・福岡バイオフィード リサイクル	・方向性発表 (環境局若手職員も ブレストに参加)	・各チームの提言 を発表

## 3 参加学生

10名

## 4 最終発表会

### (1) 概要

実施日時：令和6年11月29日(金) 14:50 - 16:20

会場：九州大学伊都ゲストハウス

参加学生：8名(当日プロジェクトメンバー2名欠席)

### (2) 内容

学生は2チームに分かれ、作成したスライドを用いながら理想の環境都市像と実現に向けたアイデアについて各30分程度発表。第1回から第3回までの議論を踏まえ、環境問題に係る日頃の思いとともに、多様なアイデアを提案していただいた。

(発表内容抜粋)

	理想のまち	主な内容・アイデア
チーム Eco	自然豊かな住みやすい街	・相乗りマッチングの推進 ・コンポスト広報強化・一人一花とコラボ ・街中にリサイクル素材のアートオブジェ ・住民の意思決定への参画
チーム Green	自己完結型の都市	・地産地消推進(都市部での屋上菜園等) ・スマートごみ箱の導入 ・リサイクルへのゲーム性導入(アプリ等) ・生ごみ堆肥活用(緑地帯での活用等)

(当日の様子)

